

中学校 CAN-DO リスト 2年生(案)

領域		目標	単元
Listening		はっきりと話されれば ア 機内放送、天気予報、運行情報、留守番電話、商品のコマーシャル、店内のアナウンスなど日常的な話題について、必要な情報を捉えることができる。 イ インタビューなど日常的な話題について、その概要を捉えることができる。 ウ 社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができる。	Let's Listen 1,3,4,5,6,7 Let's Listen 2 なし
Reading		ア 習慣やマナーなど日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものを読み、必要な情報を捉えることができる。 イ 簡単な語句や文で書かれた物語、説明文を読んで、そのあらすじを捉えることができる。 ウ 人物の伝記など社会的な話題について簡単な語句や文で書かれた短い文章を読んで、その要点を捉えることができる。	Unit 4 Let's Read 1, 2 Let's Read 3
Speaking	Spoken Interaction	ア 旅行、買い物、学級で人気があるもの、自分の町のおすすめの場所など関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。 イ 苦情、許可や依頼、身近な物の使い方、乗り物で目的地へ行く方法、電話など日常的な話題について、事実や自分の考えを伝え、気持ちなどを整理して、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。 ウ ある調査結果に関して、聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。	Unit 1 Let's Talk 4 Stage Activity 2,3 Unit 5,6 Let's Talk 1,2,3,5 パフォーマンステスト②
Speaking	Spoken Production	ア 学級で人気があるもの、世界遺産など、関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。 イ 自分が経験したこと、学んだこと、おみやげを誰に渡すかなど、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。 ウ 将来の夢に関して、聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。	Stage Activity 2 Unit 7 Learning H.E. in English Unit 0,3 パフォーマンステスト①
Writing		ア おすすめのレストラン、自分に合うと思う仕事、おすすめの場所など、関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。 イ 相手への返信メール、習慣やマナーについてのまとめた発表演、お世話になった人へのお礼の手紙などを、簡単な語句を用いて書くことができる。 ウ 情報技術の活用や環境問題について読んだことについて、考えたことや感じたこと、その理由などをまとまりのある英文で書くことができる。	Unit 2 Stage Activity 1 Let's Write 1,2 Learning Technology in English, パフォーマンステスト③

※網掛けは学校の年間計画に応じて変更する。

2 年生 各単元との関連

単元	学習到達目標	Listening	Reading	Speaking		Writing
				SI	SP	
0	□思い出を伝えるために、これまでに学んだことを用いて、自分が経験したことを話すことができる。				イ	
1	□自分の旅行の経験について他者に伝えることができる。			ア		
LT1	□場面に応じて、苦情を言ったり、それに対して謝ったりすることができる。			イ		
Learning HOME E in English	□海外のおみやげとして相手に合った商品を選ぶために、英語で書かれた食品表示を理解し、だれのおみやげにするかを理由とともに発表することができる。				イ	
LL1	□機内放送を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。	ア				
2	□おすすめのレストランについて他者に紹介することができる。					ア
LT2	□場面や相手に応じて、丁寧に許可を求めたり、依頼したりすることができる。			イ		
LL2	□インタビューを聞き、質問の内容や答えを聞き取ることができる。	イ				
3	□自分が体験したことや学んだことなどについて、たずねたり伝えたり				イ	
LWI	□留守番電話のメッセージを聞いて内容を理解し、相手に返信メールを書くことができる。また、友達に自分からメールを書くことができ					イ
Learning TECHNOLOGY in English	□情報技術の活用の仕方を考えるために、その機能について長所・短所を整理してまとめ、考えをやり取りしたり書いたりすることができる					ウ
SA1	□好きなことや得意なことについて話し合い、自分に合うと思う仕事について書くことができる。					ア
PT1	□将来の夢について聞いたり読んだりしたことをもとに、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことがで				ウ	
LR1	□説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりする事ができる。		イ			
LL3	□天気予報を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。	ア				
4	□習慣やマナーについて、たずねたり伝えたりすることができる。		ア			イ
LW2	□お世話になった人に、手紙で感謝の気持ちを伝えることができる。					イ
LL4	□運行情報を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。	ア				
5	□身近な物・事について、使い方ややり方を説明したり、自分の考えを			イ		
LT3	□乗り物での行き方をたずねたり、答えたりすることができる。			イ		
LL5	□留守番電話を聞き、主な内容を理解することができる。	ア				
6	□身近なことについて、特徴を比較しながら説明することができる。			イ		
LT4	□自分の好みや要望を伝えながら買い物をするすることができる。			ア		
SA2	□クラスで人気のあるものを調べて、その結果を発表することができ			ア	ア	
LR2	□物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりすることができる。		イ			
PT2	□調査結果から考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。			ウ		
LL6	□商品のコマーシャルを聞き、商品の特長を聞き取ることができる。	ア				
7	□各地の世界遺産を紹介することができる。				ア	
LT5	□自分の好みや要望を伝えながら電話で用件を伝えることができる。			イ		
LL7	□店内のアナウンスを聞き、イベントなどの情報を聞き取ることができる。	ア				
SA3	□自分の町のおすすめの場所について書き、相手にその場所の特徴やよい点を伝えることができる。			ア		ア
LR3	□人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解することができる。		ウ			
PT3	□環境問題について読んだことについて、考えたことや感じたこと、その理由などについてまとまりのある英文で書くことができる。					ウ

